

NEWS COPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

ヨットレースにも活かされているインターネット

第7回ボルボカップ/ウィットブレッド 世界一周レース

1997年9月から1998年5月まで、ウィットブレッド世界一周レースが開催されている。インターネットとは無縁に見える海のスポーツだが、レースの運営やオフィシャルホームページには、インターネットを使ったさまざまなテクノロジーが活用されている。オークランドでのヨットレースの取材を通して、インターネットの新たな活用方法が見えてきた。

編集部

タンデムがシステムをバックアップ

第7回ボルボカップ/ウィットブレッド世界一周レースは、1997年9月にイギリスのサザンプトンにスタートし、ケープタウン（南アフリカ）フォート・ローダール（アメリカ）など計8つの寄港地を経由して1998年5月にサザンプトンに戻るといふ、全行程31,600マイルの世界一周レースだ。その過酷さから「ヨット界のエベレスト」と呼ばれ、アメリカズカップと並んでもっとも有名なヨットレースの1つだ。

今回の大会は、コンパクトコンピュータの子会社であるタンデムコンピュータが全面的にシステムをバックアップし、レース運営本部と各レース艇との通信や、オフィシャルサイトのシステム構築、寄港地に設置されているメディアセンターの運営を担当している。オフィシャルサイトの制作は、アメリカズカップのクルーだったジョン・パートランド氏

らが設立したクオッカ・スポーツ社が担当している。内容はレースのプロモーションにとどまらず、各レース艇の航跡や気象データ提供、インタビュー、リアルビデオを含んだレポートなども行っている。

丘とのコミュニケーションが円滑に

各レース艇には、レーダーやGPSのセットのほかにインマルサット（衛星電話）のアンテナ、DV（デジタルビデオ）の編集機、パソコン一式などが積み込まれている。競技規定には、レース艇は30分ごとに電子メールでレポートを本部に送ること、1日1回、10分間のビデオを撮影して本部に送ることなどがある。また、気象状況や各レース艇の位置情報などは6時間ごとに本部からレース艇に送られる。これらにインマルサット経由のインターネットによる通信が使われているのだ。ある部品が壊れた場合、以前は



オークランドからサン・セバスチャンに向かう第5レグをスタートしたレース艇



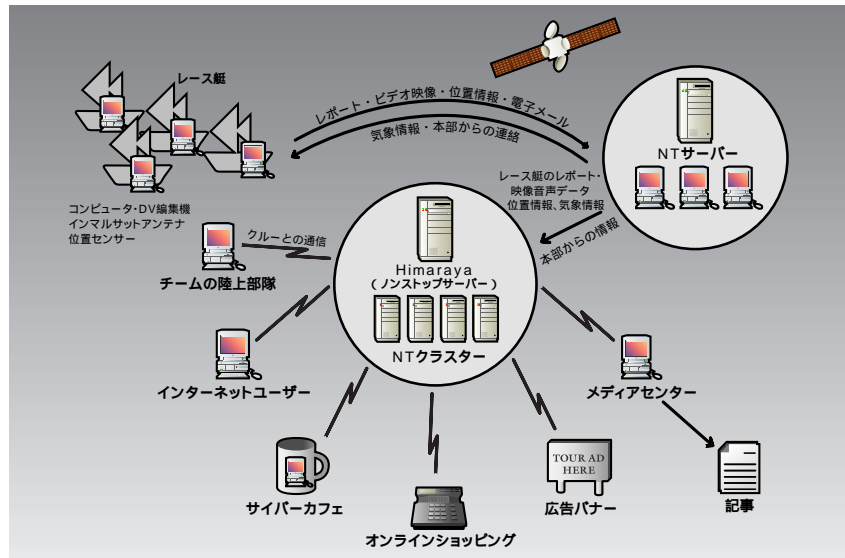
ウィットブレッドレースオフィシャルサイト
URL <http://www.whitbread.org/>

無線を使って口頭で状態を説明するしかなかったが、インターネットが使われるようになってからは電子メールで詳細を伝えたり、DVカメラを使って映像を送ったりできるようになったので、陸上で待機しているクルーとのコミュニケーションも非常に円滑になったそうだ。

こうして集められたデータはレース本部に集約され、ここからイギリスにあるウェブサイトのサーバーに送られる。つまり、オフィシャルサイトで見られる映像はレース艇の乗組員が撮影したものであり、提供されている気象などのデータはレース艇が作戦を立てるのに使われているものとまったく同じなのである。

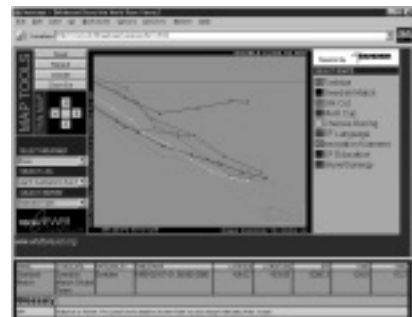
海外ではヨットレースの人気は高く、1998年の1月下旬には1日2,000万ヒットを記録した。この膨大なアクセスを処理するのはタンデムのノンストップサーバー「Himalaya（ヒマラヤ）」で、リアルビデオや写真、レースのデータを収めたファイルサーバーがクラスター（56ノードで構成）接続されている。さらに、ミラーサイトをカリフォルニアにも設置して、片方のサイトがダウンしてもすぐに復旧できる態勢が整えられている。ウィットブレッドのシステム構築を担当したタンデムのリチャード・ヘリア氏は、

インターネット・ニュースの見方



「今後はレース艇と本部との接続スピードを上げて継続的な情報提供を行いたいですし、もっと臨場感のあるデータを提供したいですね」と話していた。

今回のレースでタンデムが提供しているソリューションは、今後さまざまなイベントで応用することができるだろう。放送メディアとしてのインターネットの新たな可能性に期待したい。



レース艇の位置や気象状況がリアルタイムにわかる「race viewer」

SETを核にしたECソリューションに力を入れるタンデムコンピュータ社

第5レグのスタートに併せてタンデムコンピュータが開催したプレスブリーフィングでは、SETに対応した各種ECパッケージが発表された。同社はクレジットカードの認証システムや証券取引システム、ATM機などのノンストップシステムで大きなシェアを持っているが、今後はこのノウハウを活かして信頼性の高いECソリューションを提供していくという。

今回発表された製品はいずれもSET 1.0

対応で、消費者向けのウェブブラウザ用プラグイン「iTP Wallet」、店舗向け支払処理パッケージ「iTP Pay Server」、カード会社向け支払処理パッケージ「iTP Gateway」などがある。ウィットブレッドレースのサイトにオフィシャルグッズを販売するオンラインショッピングのコーナーがあるが、これには今回発表されたショッピングサイト構築のためのパッケージ「iTP Virtual Store」に含まれている「iTP Web

Server」が使われている。これらのソリューションは、SETをベースにしているためクレジットカードの使用が前提となっているが、デビットカード（即時払い方式）にも転用可能で、数か月以内にデビットのソリューションも発表される。

なお、今回の発表は米国向けのもの。ボーナス払いやリボルビング払いなど日本独特の支払方式に対応するSETの「Japan Market Extension」への対応を進めているため、日本でのリリース時期は未定とのことだ。

すべての照準はインターネットに ロータスフィア 98で明らかになった 「ノーツ/ドミノ」の次期バージョンと Javaの救世主「eSuite」

1998年1月26日から29日に米国フロリダ州オーランドでロータスディベロップメント社主催の「ロータスフィア98」が開催された。このイベントは、同社が年に一度開発者やユーザーなどに向けて新製品や新戦略の発表、各種セミナーを行うもので、今後の同社のビジネス展開を占うのに最も重要な位置を占めている。

編集部



ロータス社社長のジェフリー・パポーズ氏

インターネットに完全対応

今回の「ロータスフィア」では、注目の「ノーツ」および「ドミノ」の次期バージョンである「ノーツ5.0」と「ドミノ5.0」が発表された。クライアントである「ノーツ5.0」のアプリケーションである電子メールやニュースリーダー、WWWブラウザ、HTMLエディターは、インターネットで標準的に使われるプロトコルや仕様に完全に対応する。特にWWWブラウザは「ノーツ4.6」ではIEのモジュールを使っていたが、この「ノーツ5.0」からは独自に開発したものとなる。

インターフェイスも「ノーツ5.0」では大きく変わり、WWWブラウザのような操作で簡単に扱えることが強調された。実際のデモンストレーションを見ると、起動時に「ヘッドライン」というユーザーがカスタマイズできる画面が表示される。ユーザーは、この画面からWWWブラウザを使うようにカレンダー、タスク、ニュース、電子メール、WWWといったツールを使って日々のスケジュールをこなすことができる。また、「ノーツ5.0」は作業した履歴が残り、それをクリックするだけでアプリケーションやドキュメントを切り替えられる。そのためユーザーは、仕事を進めていくうえで必要となる情報を瞬時に切り替えることができ、生産性を向上できるという。

「ノーツ5.0」はインターネットに完全に対応したことで、今までの「ドミノ」のクライアントとしてだけではなく、さまざまなインターネットサーバーに対するクライアントソ

フトとして利用できるようになった。今後はマイクロソフト社の「アウトLOOK」やネットスケープ社の「コミュニケーター」と競合することになり、「ノーツ5.0」はこの分野での注目の製品となるだろう。

システムを大幅に見直した 「ドミノ5.0」

サーバーである「ドミノ5.0」も、「Reliability」、「Availability」、「Scalability」という3つのキーワードを基に、システムを根本から見直し、大きく変わるという。NFSという「ノーツ」のファイルシステムを大幅に改善し、管理できるデータベースのサイズが拡大した。これによって、

システムパフォーマンスを大きく向上させる。メッセージング環境はSMTP/MIMEをデフォルトとし、IMAP4やLDAP3、S/MIMEやそのほかインターネットのプロトコルが標準で使えるようになる。管理者にとって実感しやすいのは「ドミノ5.0」のシステム管理の容易さである。難しいといわれていた今までの「ノーツ」独自の管理方法が、ウィンドウズNTのような管理方法となることで、多くのシステム管理者が「ドミノ」を導入しやすくなるだろう。

このほか、HTML4.0やJavaスクリプト、XMLを標準サポートし、ウェブアプリケーションプラットフォームとしてもその機能を十分に活かすことができる。ビジネス分野で評



「ノーツ5.0」の起動画面。「ヘッドライン」によってユーザーは日々の業務に必要な情報を処理できる

価が高い「ドミノ」であるが、システムパフォーマンスの向上、大規模システムやインターネットへの対応で、今後はプロバイダーなどのサービス提供者にも広く利用されることが考えられる。

ナレッジマネジメントを支える新しい「ノーツ/ドミノ」

さらに同セッションでナレッジマネジメントという「ノーツ」および「ドミノ」をプラットフォームとした新しい戦略を発表した。ナレッジマネジメントとは、ビジネスにおいて経営戦略などの知的生産を高めるための情報システムである。ジェフリー・パボース社長は「ナレッジマネジメントによる企業の業績の変化を計ることはできないが、今後もっとも重要なものとなる」としており、米国ではすでに注目されているシステムのようなだ。

「ノーツ5.0」および「ドミノ5.0」は98年の第2四半期にベータ版の配布が予定され、実際の発売は98年下半年になる見込みである。また日本語版も同時期に出荷される見込みである。

NCをクライアントとして機能させる「eSuite WorkPlace」

今回のイベントでは、ロータス社のJavaにかける意気込みも強く感じた。Javaはそのオープンプラットフォーム性で注目されてきたが、ここにきてやっとその恩恵にあずか

れるものを目にできそうだ。昨年のこのイベントでも発表され、昨年の11月に正式に発表されたJava製品である「eSuite」がそれである。

「eSuite」には大きく分けて2つの製品がある。1つはNCなどに使われる統合型オフィス製品である「eSuite WorkPlace」と呼ばれるものである。「WorkPlace」にはカレンダー、ワープロ、WWWブラウザ、電子メール、スプレッドシート、ファイルマネージャー、住所管理機能、プレゼンテーションソフトといったビジネスで必要となるアプリケーションがシェルとともに含まれ、NCのようなシンクライアントでも日常業務をこなすことができる。会場で「WorkPlace」のデモンストレーション用のNCを使用してみたところ、個々のアプリケーションがサーバー側に置かれているため、起動に時間がかかると感じた。アプリケーション自体の機能は少ないものの、ヘビーユーザーが使うのではない限り、十分な機能を提供している。

「eSuite Work Place」の英語版はIBMのNCであるNetwork Station Series 1000に搭載され、2月中旬に出荷されている。価格は1ユーザーあたり49ドル。そのほかの言語バージョンは98年の第2四半期に出荷予定だが、日本語版の発売時期は未定となっ

ている。

「eSuite DevPack」が実現するJava アプレットアプリケーション
「eSuite」製品のもう1つはインターネットアプリケーション開発用の「eSuite DevPack」だ。「DevPack」は開発者向けの製品で、スプレッドシート、グラフ作成、ワープロ、プレゼンテーション、スケジュール管理といったJava アプレットが用意され、サンプルプログラムも含まれている。開発者は「DevPack」で提供されるアプレットを組み合わせることで、企業などで使われる定型業務用のアプリケーションを作ることができる。

さらに、「DevPack」ではロータス社が開発したInfoBusという同一Java パーチャルマシン上でJava コンポーネントが通信するためのアーキテクチャーを採用している。InfoBusを使うと、Java コンポーネント同士でデータをシェアするアプリケーションを開発する場合に余計なプログラムを記述する必要がないので、開発コストを削減できるようになる。なお、ジャバソフト社はInfoBusをJDKの次期バージョンで正式に採用することを表明している。

このイベントの初日に「eSuite DevPack」のプレビュー版がロータス社のウェブサイト(<http://esuite.lotus.com/>)からダウンロードできることが発表された。発売は98年の第1四半期後半になる見込みで、予想価格は1CPUあたり1,495ドルである。

数多くの開発者やユーザーが参加したこのイベントは、ロータス社の勢いを感じさせるものであった。ジェネラルセッションでパボース社長が語った同社の98年の目標は、新しい製品や技術開発を続けていくこと、製品の信頼性や品質を向上させること、マーケットの動向をつかんで主導権を握ること、そしてIBMと共にビジネスを進めていくことを掲げていた。



「eSuite WorkPlace」のシェル



「eSuite DevPack」のサンプルアプリケーション

車載用コンピュータ「AutoPC」 クラリオンが「IN-CAR NET」構想を発表

98年1月に米国ラスベガスで行われたCES(Consumer Electronics Show)で発表されて話題になったウィンドウズCEベースの車載用コンピュータ「AutoPC」だが、日本でも1月27日にクラリオン(株)が製品の発表を行い、日本市場での展開についても明らかにした。

編集部



クラリオン(株)取締役社長の石坪一三氏

Is Bill Gates in your car?

「Clarion AutoPC」はマイクロソフトのウィンドウズCEベースのコンピュータで、カーオーディオ機能、コンピュータ機能、ナビゲーション機能、音声認識機能、無線通信機能を搭載する。クラリオンは、約2年前よりマイクロソフトとともに「AutoPC」の製品開発に取り組み、98年1月27日に都内で製品説明会を開催した。クラリオンの石坪一三社長は、自社を「カーマルチメディアのリーダーカンパニー」として位置づけ、「快適な生活空間、情報空間としての車を目指し、高度情報化社会における車載型双方向マルチメディアの開発に向けての商品開発を「IN-CAR NET」構想と名づけ、閉鎖的と思われがちな車内を開放的な空間にしていく」とアピールした。

電子メールも音声で送受信

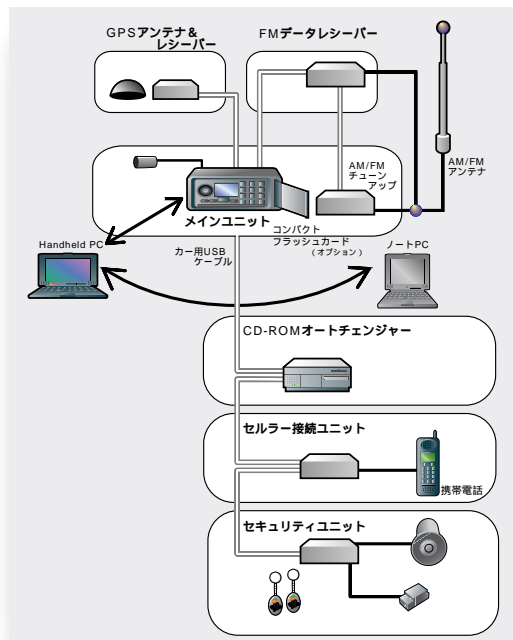
「Clarion AutoPC」は、ROMベースで起動が速く、小容量メモリーで動作が可能になっている。操作は音声で行うので、運転手は正面から目を離すことはない。表示部分にはActiveXの技術を用い、ディスプレイの仕様変更も容易だ。CDプレイヤーやAM/FMチューナー機能も持ち、カーオー

ディオの音声操作も可能だ。GPSユニットはオプションだが、現在位置を自分で指定すればGPSなしでも地図データベースCD-ROMを使ってナビゲートしてくれる。同じくオプションの携帯電話接続ユニットを使って、電子メールの送受信もできる。送信メールの作成や送信先の指定も声で行うことができる。また、アドレス帳などのデータは、ハンドヘルドPCやノートパソコンとやり取りできる。さらに、「Clarion Auto PC」は拡張性にも優れ、CD-ROMやコンパクトフラッシュカード、IrDAでソフトウェアのインストールができる。さらに

セキュリティーユニットを装備すれば、車の盗難防止にもなる。

日本での発売は1999年中

「Clarion AutoPC」は98年6月、世界に先駆けて北米市場に投入される。価格はベースモデルが約1,300ドル、セルラー接続ユニットなどのセットモデルが約2,400ドルの予定。日本での製品発売予定は99年中を予定し、GPS機能や外部ディスプレイの標準装備など、日本市場のニーズに合った製品にカスタマイズする可能性が高く、今回発表された製品とは異なるものになるかもしれないとのことだ。



「Clarion AutoPC」の仕組み



6月に北米で発売される「Clarion AutoPC」

最新ネットワークソリューションの祭典 「NET&COM '98」開催

情報システムおよびネットワーク分野の展示会「NET&COM」が6年目を迎えた98年、「躍動するインターネット/イントラネット最前線」をテーマに、2月4日から6日までの3日間にわたって日本コンベンションセンター(千葉・幕張メッセ)で開催された。インターネット人口が急激に増加する中、ネットワークの高速化やセキュリティ、次世代インターネット環境などをにらんだ新製品が多数出展され、会場は熱気に包まれた。編集部

通信ネットワークの最新技術動向
「ネットワーク/通信ゾーン」の特設ブース「ネットワーク最前線」では、通信ネットワークの最新技術、AO/DI (Always On/Dynamic ISDN) やxDSL (Digital Subscriber Line) の実演が行われた。

ISDN回線のパケット交換用Dチャンネルを利用して仮常時接続を実現するAO/DIでは、セイコーインスツルメンツがこれに対応したマルチプロトコルルーター「NS-2280」を展示し、16KbpsのDチャンネルでデータ通信を行った場合に、通信量が多くなれば自動的に64KbpsのBチャンネルへと切り替えるデモを行っていた。また、NTTでは、バックウェブ・テクノロジーズのプッシュ技術「BackWeb」や会場内のビデオカメラで撮影したライブ映像の配信などを実演していた。

すでにNTTで実証実験が開始されているxDSLも、各メーカーの製品が勢揃いし、



最新技術満載のNET&COM'98会場

来場者の強い関心を集めていた。このxDSLは既存の電話用のケーブルで数Mbpsのデータ通信を可能とするモデム技術である。会場ではxDSL回線を経由してインターネットに接続し、その優秀さを公開していた。xDSLには上りと下りのスピードにより、対称型と非対称型でその呼び名が異なっている。今回は速度対称型のHDSLとSDSL、非対称型のADSL製品が展示され、ADSLでは、音声とデータ通信の帯域を分けた両者同時利用のデモが行われた。

そのほか、高速データ通信を実現するハードウェア「ギガスイッチ」製品も多数出展されて賑わいを見せていた。

インターネット関連の 新製品も発表される

「Web環境構築ゾーン」の特設ブースでは「100% Pure Java」スポンサーが集まり、開発製品のデモが行われた。なかでも

異色だったのは、ポケットベルほどの小型Java端末「Blue Mountain」(アプリクス、PFU共同開発)で、これは将来家電などにJavaが採用された場合、それらをリモートコントロールする小型ネットワーク端末に使用できるものとして提案されている。アプリケーションによってはPDAとしても使用できる外観である。そのほか、遠隔地からJavaアプレットで

リモート操作を行う日本アイ・ピー・エムの「Desktop On-Call」などが出展された。

また、このゾーンではセキュリティやEC関連製品も多数出展され、日本ベリサイン発行の「デジタルID」を使用したセキュア電子メールソフト「魔法便」(NTTエレクトロニクス)など、S/MIMEを採用したのも登場している。このS/MIME対応製品では、松下電送の「インターネットFAX」が面白い。世界で初めてS/MIMEプロトコルをインターネットFAXに取り込み、電子メール内容の改ざん防止を実現している。

新製品の展示

発売間近の製品を見るのも、展示会の楽しみだ。3月20日に店頭販売されるセイコーインスツルメンツの「PHS DATA LINK」は、PCMCIAタイプのPHSデータカードで、PIAFSとDATA32の両方式の32Kbpsのデータ通信ができる。イヤホンマイクも付属し、ノートパソコンに接続して電話としても使えるようになっている。実売価格は15,000円から20,000円程度になる見込み。

会場はそれほど広くなかったが、中身は充実していた。今回紹介した新技術が早期にサービス開始されると、ますますインターネットが面白いものとなるに違いない。



兼松コンピュータシステム出展のHDSLモデム Campus-REX



セイコーインスツルメンツのPHS DATA LINK

Product マイクロソフトが「ウィンドウズ98」のベータテストをスタート

マイクロソフトは、ウィンドウズ98のリリースに向けたベータテスト「Microsoft Windows98 Preview Program」を実施する。これは、2月5日から12日の期間に同社のウェブサイト上で申し込みを行った限定35,000人のユーザーに対し、ウィンドウズ98のベータ評価プログラムを配布するもので、多くのユーザーの意見を反映させて製品版の品質を高めるのが狙い。マイクロソフトでは、これまでに国内3,500サイト以上の開発者を対象にベータテストを実施してきたが、今回ベータ版の配布対象をユーザー層にまで広げることで、製品発売前の技術評価をさらに進める。なお、ウィンドウズ98の最新機能などについては本誌224ページで詳しく解説している。

問い合わせ マイクロソフト㈱インフォメーションセンター TEL 03-5454-2300

Product ネットスケープがWWWブラウザの無償提供を開始

Netscape Communications社および日本ネットスケープ・コミュニケーションズは1月22日、「ネットスケープ・コミュニケーションター」のスタンダード版4.0と、「ネットスケープ・ナビゲーター」を無償で提供すると発表した。さらに、次期バージョンの「コミュニケーションター5.0」のソースコードも公開することも発表した。

URL <http://home.jp.netscape.com/ja/>



上記ホームページからダウンロードできる

Service NTT「タイムプラス」全国展開を条件に郵政省が認可

NTTの市内通話5分10円（早朝深夜は7分10円）の割引サービス「タイムプラス」（対象は首都圏）について、郵政省の諮問機関、電気通信審議会の電気通信事業部会は2月4日、NTTに対して、98年の早い時期に全国展開を行うこと、さらに、サービスを実施した後の利用状況を郵政省に報告することなどを要望し、郵政省の諮問通り答申した。これを受けて郵政省も、同日これらの要望を条件としたうえで、NTTの「タイムプラス」の認可を決定した。NTTは2月の中旬にもサービスを開始する意向。

「タイムプラス」はTTNetの「東京電話」に対抗して、NTTが提供する「市内通話5分10円」の割引サービス。一方の「東京電話」のサービス料金は3分9円。

Technology ITUが56Kモデム通信規格「V.90」の標準化草案を承認

現在、56Kモデムには、ロックウェル社などの「K56flex」とスリーコム社の「x2」があり、互換性のない2種類の通信規格に準拠したモデムが存在する。

しかし、スイスのジュネーブで2月6日、ITU（国際電気通信連合）によって56Kモデム技術の標準化に向けた草案が認可された。認可されたのは「V.90」（V.pcm）と呼ばれる技術で、すでにスリーコム社やルンセント・テクノロジー社などのモデムメーカーにおいて互換性のテストが行われていた。正式な標準化決定は9月になる見通しだが、各モデムメーカーは、現在の56Kモデムを「V.90」にアップグレードするためのソフトを春には出荷する可能性もあるという。

URL <http://www.itu.int/newsroom/press/releases/1998/98-04.html>

Product ポイントキャストがイントラネット向け放送ツールを配布

ポイントキャストは2月19日、イントラネット向け放送ツールをリリースした。今回発表されたツールは以下の4つ。「ポイントキャスト・キャッシュマネージャ」は、ポイントキャストから配信された情報を管理するサーバーツール。「ポイントキャスト・アドミニストレータ」は、イントラネット内のユーザーのネットワーク設定などの設定を行う管理者用ツール。「ポイントキャスト・イントラネット放送マネージャ」は、社内のニュースなどの情報をもとに独自チャンネルを作るツール。さらに、「ポイントキャスト・スタジオ」は、広告用などにアニメーションを作成するツール。これらのツールはポイントキャスト社のサイトから無償でダウンロードできる。

URL <http://www.pointcast.ne.jp/>

Technology W3CがXML 1.0の勧告を正式に発表

SGMLをもとに複雑な構文記述やブッシュ技術、文書整理アプリケーションなどに対応可能なドキュメントフォーマットXML（eXtensible Markup Language）1.0の勧告が2月10日にW3Cより正式発表された。この勧告は12月8日に発表された勧告案をもとに、細部の訂正と仕様が明確になっている。勧告が正式に発表されれば、現在製品化されているXML製品がバージョンアップによって完全に対応するものと思われる。また今後はXLL（eXtensible Linking Language）などXMLに付随する言語の勧告が発表される。XMLはその柔軟性から今後HTMLに替わるドキュメントフォーマットとして注目されている。

URL <http://www.w3c.org/>

Product アレクソンが
電話帳機能を持った
「TD503」を発売

アレクソンは、DSU内蔵TA「TD503」を3月上旬に51,200円で発売する。アナログポートを3つ（独立回線）とS/T端子を2つ搭載する。電話帳機能を内蔵しており、受信した電話を特定のアナログポートに割り振ったり、発信者によって着信音を変えたりすることもできる。発着信や留守中の着信履歴を記憶することもでき、マルチジョグで簡単に操作できる。

問い合わせ (株)アレクソン TEL 03-5645-8571
URL <http://www.alexon.co.jp/>



ナンバーディスプレイや -ALPHA3にも対応

Product サン電子が
ESP付きTA
「TS128JX」を発売

サン電子は、コンピュータとTAをモジュラーケーブルでも接続できるTAの新製品「TS128JX /DZ」を3月に発売する。独自技術のESP (Extension Serial Port) によって、TAとコンピュータをモジュラーケーブル（4芯）で接続するもので、アダプターとコンピュータはRS-232Cケーブルで接続する。接続距離は100メートルまで延長することができる。価格は49,800円。

問い合わせ サン電子(株)
ユーザーサポートセンター TEL 0120-863810



本体の右にあるのがESPアダプター

Product アイワが
DSU内蔵TA
「TM-AD1281」を発売

アイワは2月10日に、DSU内蔵ターミナルアダプター「TM-AD1281」を発売した。アナログポート2つとS/T端子1つを搭載し、G3ファックスの送受信をTAで行うためのウィンドウズ用ソフト「RVS-COM Lite」も付属する。停電時にも乾電池でアナログポートが使用できる。価格は34,800円。

問い合わせ アイワ(株)お客様ご相談センター
TEL 03-3371-7981
URL http://www.aiwa.co.jp/exhibi/new_prod/tm_ad1281.html



回転する液晶モニターは横置き時にも便利

Product 松下通信工業が
ワイヤレス通信対応TA
「VC-173」を発売

松下通信工業は、PHSによるワイヤレス通信に対応したTA「VC-173」を発売した。子機として利用できる範囲であれば内線モード（無料）で32Kbpsデータ通信が可能で、本体経由でのISDNによる通信や、本体のRS-232Cポートに接続されたコンピュータとのデータ通信ができるのが特徴。ただし、本体RS-232Cポートでの128Kbps通信には対応していない。

問い合わせ 松下通信工業(株)
TEL 045-544-3805



PHSワイヤレス通信対応のTA「VC-173」(右)

Product アクトンテクノロジーが
音声メッセージ機能
Talking Hubを発売

アクトンテクノロジーは、ネットワークの稼動状況などを音声でユーザーに伝える機能を持つハブ「Talking Hub」を78,000円で発売した。声優の宮下優子を起用し、操作方法や障害情報、接続状況などを音声で通知する。出荷数は限定300台で、受注がこの数に達した時点で販売を締め切る。

問い合わせ アクトンテクノロジー(株)
TEL 03-3257-9809
URL <http://www.accton.co.jp/aboutaccton/press.html>



イーサネットポートを8つ搭載する「Talking Hub」

Product コレガが
SOHO向けハブ
2機種を新発売

コレガは1月21日に、SOHO向けに小型ハブ2機種を発売した。10BASE-Tポートを5つ搭載した「corega HUB5P」は7,200円、9ポート搭載の「corega HUB9P」は12,800円。「corega HUB5P」のサイズは99(W)×54(D)×21(H)ミリと超小型。また、ストレートケーブルによるカスケード接続も可能だ。

問い合わせ (株)コレガ TEL 0120-267342
URL <http://www.corega.co.jp/>



SOHOでのネットワーク構築に

Product フジが150万画素
メガピクセルカメラを
99,800円で発売

富士写真フィルムは、150万画素 CCDを搭載したデジタルカメラ「FinePix 700」を99,800円で3月4日に発売する。デジタル2倍ズーム、オートフォーカス機能を搭載し、人物の肌を美しく再現する美肌機能を内蔵したのが特徴。記録メディアはスマートメディア(5/3.3V)を採用。

問い合わせ 富士写真フィルム(株)お客様コミュニケーションセンター TEL 03-3406-2981

URL http://www.fujifilm.co.jp/news_r/nrj322.html



小型軽量のメガピクセルカメラ「FinePix700」

Product コダックが五輪開催記念
10.9万画素デジカメ
「DC200」を発売

日本コダックは長野オリンピック開催を記念して、109万画素 CCDを搭載したデジタルカメラ「DC200」を、2月6日に71,000円で発売した。39ミリ(35ミリ換算)レンズを搭載し、記録メディアはコンパクトフラッシュを採用した。また、画像フォーマットについてはJPEGに加えてFlashPix形式もサポートした。

問い合わせ 日本コダック(株)デジタルイメージング事業部 TEL 03-5488-2390

URL <http://www.kodak.co.jp/NEWS/88014a00.shtml>



光学ファインダーとTFT液晶モニターを搭載

Product 京セラが
ネットワーク対応
高速プリンターを発売

京セラは、ネットワーク対応プリンター ECOSYS シリーズの新製品「LS-3700」を2月2日に発売した。CPUにPower PC 603e(100MHz)を搭載し、A4で18枚/分の印刷速度を実現した。また、ネットワークボードEcoLAN2000Eを本体に差し込むだけでネットワークに接続でき、TCP/IP、NetWare、EtherTalkに対応し、リモート操作もできる。価格は248,000円。

問い合わせ 京セラコミュニケーションズ(株)情報システム営業本部 TEL 03-3708-3871



最大で1,350枚の大量給紙ができる「LS-3700」

Product 日本 HP が
ネットワーク対応
プリンターを充実

日本ヒューレット・パカードは、A3用紙に対応したインクジェットプリンター「HP DeskJet 1120C」を、84,800円で2月14日に発売する。オプションの「HP JetDirect Ex Plus」(39,800円)によってネットワークに接続できる。印刷速度はA4紙で6.5枚/分で、独自技術「HP PhotoREt」によって1,200dpi相当の画質を実現した。

問い合わせ 日本ヒューレット・パカード(株)カスタム・サポート・センタ TEL 03-3335-8333



A3対応インクジェットプリンター「HP DeskJet 1120C」

Product パラダイン・ジャパンが
xDSLモデムを開発
試用機器の販売を開始

パラダイン・ジャパンは1月27日、xDSL モデム「ホットワイヤー-MVL」システムを発表した。ユーザー側モデムはPCカード型とボックスタイプが用意され、価格はセンター側集合装置とユーザー側のxDSL モデムを含めて1ラインあたり299ドルを予定。同社ではただちに試用機器の販売を始め、98年秋には本格的に製品の販売を開始するという。

問い合わせ パラダイン・ジャパン(株) TEL 03-5541-6630

URL <http://www.paradyne.co.jp/>



「ホットワイヤー-MVL」シリーズのユーザー側モデム

Product インターコムが
100%Java対応の
電子メールソフトを発売

インターコムは、米国ノビタ・コミュニケーションズ社が開発した100%Java対応のメールソフト「NOVITAMAIL」を日本語化し、4月上旬より9,000円で発売する。パッケージの販売と並行してNCやインターネットTVなどに向けたOEM供給も行っていく。Javaアプレットのゲームを送って対戦ゲームをプレイすることもできる。

問い合わせ (株)インターソフト TEL 03-3842-3335

URL <http://www.intercom.co.jp/news/release/novita.html>



Javaアプレットやアニメーションも簡単に送信できる

Product メガソフトが
コミュニケーションツール
「RVS-COM」発売

メガソフトは、独RVS Datentechnik 社の「RVS-COM」の日本語版を4月中旬に28,000円で発売する。「RVS-COM」はFAX、リモートコントロール、ファイル転送、電子メール、留守番電話などの機能を持ち、G3FAXについてはFAXモデムがなくてもTAだけで送受信ができるのが特徴だ。

問い合わせ メガソフト(株)インフォメーションセンター TEL 06-386-2072

URL <http://www.megasoft.co.jp/>



「RVS-COM」(英語版)のパッケージ

Product マクニカが
映像 & 音声送信ソフト
「LiveMail」を発売

マクニカは、ウィンドウズ用ソフト「LiveMail version 2.0」を3月上旬に発売する。CCDカメラなどで撮影された映像と音声をASFファイルに圧縮して電子メールに添付して送信する。ASFファイルはマイクロソフトの動画再生ツール「NetShow」で再生できる。価格はソフトのみが6,800円、カメラパックは17800円。

問い合わせ (株)マクニカ マルチメディア製品部
TEL 045-939-6140



ビジネスモードとホビーモードが用意される

Product オープンテクノロジーが
メールサーバーソフト
「Post.Office」発売

オープンテクノロジーは、インターネット用メールサーバーソフト「Post.Office 3.1.2」日本語版を発売した。メーリングリスト管理機能を持つほか、20万メールボックスを管理することもできる。価格は10アカウントパック14,000円からで、対応OSはウィンドウズNT4.0。

問い合わせ (株)オープンテクノロジー
TEL 03-5804-1831

URL <http://product.opentech.co.jp/>



WWWブラウザでメールサーバーを管理できる

Product マイクロソフトが
マック版 IE 4.0 を
MACWORLD で配布

マイクロソフトは、2月の18日から21日に幕張メッセで開催される「MACWORLD Expo/Tokyo '98」において、マッキントッシュ用のWWWブラウザ「Microsoft Internet Explorer 4.0 for Macintosh」(IE4.0)を配布する。これまでPreview Releaseであったマック用のIE4.0の正式版がリリースされることで、IE4.0はウィンドウズとマックの両プラットフォームをサポートすることになる。また、IE4.0には電子メールクライアントソフト「Outlook Express」が付属する。アップルコンピュータとの提携を発表した昨年来、マイクロソフトはマック用の「Office 98」を発表するなど、マック用の製品も積極的に発表している。

URL <http://www.microsoft.com/japan/>

Service NTTパーソナルが
新サービスを開始
PHS だけでメール送受信

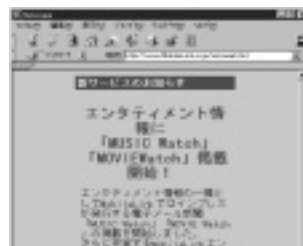
NTT中央パーソナルは、プロバイダーと契約することなく電子メールを送受信できる新サービス「パルディオEメール」を3月1日よりスタートする。「パルディオEメール」は、サービス対応PHSを利用して、同社の「Eメールセンター」経由でメッセージの送受信を行うもので、インターネットの電子メールとのやり取りもできる。料金は10秒あたり7円。また、3月上旬には「パルディオEメール」対応PHS「スーパーパルディオ551S」が発売される。液晶ディスプレイ(160×200ドット)を搭載し、付属のタッチペンでメッセージ作成などの操作ができる。

URL <http://www.nttphs.co.jp/chuo/>

Service インプレスが
MobileLink に
音楽・映画情報を提供

インプレスは1月24日、カーナビやPDAなどのモバイル情報端末用のウェブサイト「MobileLink」に、音楽・映画情報の提供を開始した。「MobileLink」は1/4VGAサイズで作成され、モバイル端末でのブラウジングを考慮した作りになっている。提供するの電子メール新聞「Watchシリーズ」の、「MUSIC Watch」と「MOVIE Watch」の情報。

URL <http://www.MobileLink.or.jp/>

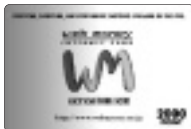


「MobileLink」はインプレス、ソニー、電通など7社で運営

Commerce プリペイド型の電子決済システム「WebMoney」がスタート

アスキーサムシンググッドは、インターネットを利用した電子決済システム「WebMoney」を開発した。「WebMoney」はテレホンカードサイズのプリペイドカードで、利用者はインターネット上のショッピングサイトなどでカードに記載されたコードを入力して商品の購入やサービス利用の決済を行う。インターネットを流れるのはプリペイドカードのコードだけで、個人情報の漏洩の心配はない。当初は2,000円と5,000円のカードを発行する。

問い合わせ (株)アスキーサムシンググッド マルチメディア事業推進部 TEL 03-5436-6211



「WebMoney」はコンビニなどで販売される

Commerce 小額電子取引システム「MilliCent」を使って日本DECが公開実験

日本DECは1月30日、小額電子取引システム「MilliCent」の公開実験開始を発表した。「MilliCent」は10銭から500円程度の小額取引向けのシステムで、利用者があらかじめ購入した電子クーポン「スクリップ」から利用金額を差し引くことで決済を行うもの。スクリップはデジタル署名により改ざんできないように作られている。クリックした時点で取り引きが完了する「ペイ・パー・クリック」や、利用者がまとめてコンテンツを購入する「定期購読型」の決済が可能になり、販促の景品として「無償クーポン」や「割引クーポン」の贈与もできる。今回の実験開始に向けてウェブ上に専用ソフトウェアを公開し、一般からの参加を広く呼びかける。

URL <http://www.dec-j.co.jp/ic/millicent/>

Technology マイクロソフトとNTTパーソナル中央が32Kbps通信技術で協力

マイクロソフトとNTTパーソナル中央は1月28日、PHSでの32Kbps通信(PIAFS)技術において協力関係を結んだことを発表した。今後マイクロソフトは、ウィンドウズCE対応のPIAFS用プロトコルスタックを開発し、ウィンドウズCE製品にPHS機能を装備していくという。つまり、ユーザーは従来のPIAFS用モデムカードを用意する必要なしで、PIAFSによる通信ができるようになる。さらに、現在NTTパーソナル中央で実験化試験中の位置情報サービスの応用など、PHSの付加サービスと組み合わせた新たなサービスも提供する。

URL <http://www.microsoft.com/japan/info/releases/0128ntt.htm>

URL <http://www.nttphs.co.jp/chuo/link03.htm>

Company 規制緩和を受け第一種通信事業者に外国勢が名乗り

2月5日、自社回線を所有して通信サービスを行う第一種電気通信事業者への外資規制が撤廃されたのを受け、外国の大手通信事業者2社が日本市場への参入を表明した。英プリティッシュ・テレコム社は、BT・NIS(丸紅との合併会社)を通じて法人向けネットワークサービスを3月に開始すると発表するとともに、年内にも第一種の免許取得に向けて申請を行うことを明らかにした。また、米ワールドコム社も、年内に首都圏の金融街などで通信サービスを開始する意向を表明した。同社はすでに免許申請を済ませ、春には外資企業として初の一種免許取得を目指す。今回の規制緩和は、WTO(世界貿易機関)の電気通信基本合意に伴って、日本における第一種電気通信事業の外資規制が撤廃されたもの。

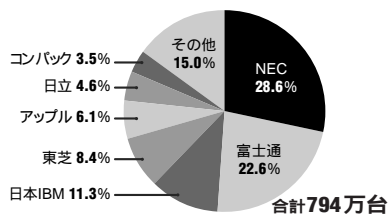
Research インターネット人口日本では884万人AMIが調査結果を発表

アクセスメディア インターナショナル(AMI)は、国内のインターネット利用状況に関する調査結果を発表した。この調査は、電話による普及率調査(有効回答数約2万件)と郵送による利用実態調査(有効回答数約2,300件)で構成され、毎年春に実施する「インターネット白書」の中間調査にあたる。調査結果によると、97年末時点でインターネットの利用者数は884万人で、そのうち家庭から利用しているのが342万人、勤務先や学校での利用が679万人、さらに137万人は家庭と勤務先・学校の両方でインターネットを利用していると回答した。このほか、97年は家庭にパソコンを持たない人が、パソコン以外の機器を使ってインターネットを利用するケースが増えてきたという。

Research 日本のパソコン市場97年は794万台の出荷前年比4.3%増にとどまる

情報技術の大手調査会社、日本ガートナーグループは、1997年の日本のパソコン市場に関する調査結果を発表した。これによると、工場出荷台数は794万台、金額で1兆9,945億円となり、それぞれ対前年成長率4.3%、2.7%増となった。96年の成長率は32.3%で、入門者の買い控えや景気減速などが97年の低成長率の要因と見られる。なお、アメリカの97年の成長率は20.9%(3,100万台)に上った。

1997年の日本パソコン市場におけるシェア



出典：データクエスト(1998年2月)

Event イベントカレンダー(1998年3月~6月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へお確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
3月3日	3月6日	'98 SA SHOW (第14回流通情報システム総合展)	'98 SECURITY SHOW」と同時に開催される 展示会。POSシステムやバーコード関連、パ ソコン、データベース、磁気カード/ICカード、 電子マネーなどがテーマ。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847
3月3日	3月6日	'98 SECURITY SHOW	情報ネットワーク・セキュリティー・システム やオフィス用情報管理システム、ホームセキュ リティー、監視用映像機器の展示会。「'98 SA SHOW」と併催する。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847
3月5日	3月6日	ネットワーク・コラボレーション '98	これまで4回行われてきた「イントラネット& グループウェアソリューション」が名称も新た に、内容も拡充されて開催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 日本経済新聞社 総合事業部 Tel. 03-5255-2847
4月6日	4月9日	COMDEX/Japan '98 URL http://www.comdex.com/comdex/ owa/event_home?v_event_id=232	コンピュータの総合展示会とコンファレンス。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 ソフトバンクフォーラム株 Tel. 03-5642-8312 Fax. 03-5641-4617
4月22日	4月24日	'98 ボード・コンピュータ展 URL http://imgate.jma.or.jp/ CONVENTION/	バスボード、OS、開発支援ツール、バック レーン/周辺機器などに関する展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 日本能率協会産業振興本部 Tel. 03-3434-0998
5月19日	5月22日	ビジネスショウ '98 TOKYO URL http://www1.meshnet.or.jp/kns_si/ event/	日本最大の事務・情報・通信についての展示 会。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主(社) 日本経営協会、東京商工会議所 関 日本経営協会 ビジネスショウ事務局 Tel. 03-3403-8910
6月3日	6月5日	NETWORLD + INTEROP 98 TOKYO URL http://www.sbfforums.co.jp/ interop.htm	最先端のネットワーク技術&情報に関するア プリケーションとインフラの展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8312 Fax. 03-5641-4617

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
3月2日	3月3日	Business-to-Business Electronic Procurement URL http://www.icmconferences.com/ nt01.html	企業間における電子商取引についてのセミナー。	Marriott Marquis Atlanta Georgia, USA	関 ICM Conferences Tel +1-312-540-3010 Fax +1-312-540-3015
3月9日	3月13日	Spring Internet World '98 URL http://events.internet.com/ spring98/spring98.html	インターネットの総合展示会。	Los Angeles Convention Center Los Angeles, California, USA	関 Mecklermedia Tel. +1-203-226-6967
3月16日	3月20日	Seybold Seminars New York 98 URL http://www.seyboldseminars.com/ Events/ny98/	デジタルパブリッシングなどに関する展示会と 講演会。	Jacob Javits Convention Center New York, NY, USA	関 SOFTBANK Forums Tel. +1-415-525-0194
3月24日	3月27日	Java One Developer Conference	Javaに関するデベロッパー向けのイベント。 Javaの最新技術などについてコンファレンス を行う。	Moscone Convention Center San Francisco, California, USA	関 SOFTBANK Forums Tel. +1-415-525-0194
3月26日	3月27日	WCA Winter Show URL http://wirelesscabletv.com/events/	ワイヤレスによるインターネットや放送に 関する展示会。	Marina Mandarin Singapore	関 Sherry Crittenden Tel +1-202-452-7823 Fax +1-202-452-0041
3月30日	4月2日	Spring '98 Voice on the Net URL http://www.pulver.com/von98/	インターネット電話に関する展示会。	Fairmont Hotel San Jose, USA	関 pulver.com Tel +1-516-487-1424 Fax +1-516-487-7269
4月20日	4月23日	COMDEX/Spring '98 / WINDOWS World '98 URL http://www.comdex.com/	コンピュータ関連の総合展示会とコンファ レンス。	McCormick Place Chicago, Illinois, USA	関 SOFTBANK COMDEX, Inc. Tel. +1-617-433-1500
4月23日	4月24日	Web Marketing '98/Seattle URL http://www.thunderlizard.com/ ttp/webmarketing.html	インターネットを利用したオンラインビジネス や取り引きに関するセミナー。	Thr Westin Hotel Seattle, USA	関 Thunder Lizard Productions Tel +1-206-285-0305 Fax +1-206-285-0308
5月3日	5月6日	Cable '98 URL http://www.ncta.com/	ケーブル・テレビ技術、サービスに関する総合 展示会。	George World Congress Center Atlanta, Georgia, USA	関 National Cable Television Association Tel. +1-202-775-3606 Fax. +1-202-775-3692
5月4日	5月8日	NETWORLD+INTEROP 98 Las Vegas URL http://www.interop.com/events/ ni_vegas98/index.html	最先端のネットワーク技術&情報に関するア プリケーションとインフラの展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, Nevada, USA	関 SOFTBANK Forums Tel. +1-415-525-0194
5月23日	5月26日	EXPO COMM WIRELESS KOREA 98 URL http://www.comdex.com/ comdex/owa/event_home/	モバイルコンピューティングや携帯電話など に関する展示会とセミナー。	Korea Exhibition Center Seoul, Korea	関 SOFTBANK COMDEX Tel +1-781-433-1823
5月28日	5月30日	E3 Electronic Entertainment Expo URL http://www.idg.com/expos/ main.html	世界最大のコンピュータ&ゲーム機などのエン ターテインメントに関する展示会。	George World Congress Center Atlanta, Georgia, USA	関 MHA Event Management Tel. +1-781-551-9800



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp